

朝夕に吹く風に秋の気配が感じられるようになりました。園庭で元気に遊ぶ子どもたちの声からも、秋の心地よさを楽しむ気持ちが伝わります。先月はお店屋さんごっこでパン屋さんを開きました。紙粘土や画用紙、綿など様々な素材で作ったパンを並べ、店員さんとお客さんに分かれて「いらっしゃいませ!」「メロンパンください」等やりとりを楽しむ姿が見られました。「これとこれと…」と選びきれないお客さんに、「チョコパンあるよ」とお勧めするなど友だちと関わりを深めながら遊びを広げていました。また、パスと絵の具を使って『夏の遊び』の絵を描きました。「うきわたのしかった」「ぜんぶぬっていいの?」と思い出を表現しながら、のびのびと楽しむ様子が見られました。今月はホールや園庭で元気に体を動かす遊びを楽しみたいと思います。リズム遊びが大好きな子どもたちは全身を使って動物になりきったり、音に合わせてポーズを決めて止まったり、時間も忘れて楽しんでいます。一人ひとりの笑顔や楽しむ気持ちを大切に、体を動かすことの心地よさを感じていきたいと思います。また、下旬には縦割り保育が始まります。ひつじ組、ぞう組のお兄さんお姉さんと同じグループに分かれ、散歩やクッキング、制作を通して異年齢の友だちとの関わりを深めていきたいと思います。



先月中旬より
おやつの際の配膳時に
自分でお皿を取りに行くことを
始めました。

Aくん「え!? もらいにいいの?」
Bくん「おいちゃんたちといっしょや!」
Cくん「おおいのください!」

憧れのひつじ組やぞう組と同じことが
できることの喜びが伝わってきました。
こぼさないように大事に持って
歩く後ろ姿は頼もしく、
かわいかったです。

朝夕は少しずつ涼しさを感じられるようになってきましたが、日中はまだ暑さが残る日が続いていますね。それでも子どもたちは元気いっぱい園庭で身体を動かして遊んでいます。最近では、鬼ごっこやルールのある集団遊びを楽しみながら、約束事を守って遊ぶ、友だちと一緒にすることがとても楽しくなってきました。時には、逃げる役・追いかける役など、それぞれの立場になって考えたり、相手の気持ちを想像したりしながら、思いやりを持って遊ぶ姿も見られるようになってきました。

また、子どもたちは運動会をとっても楽しみにしています。「お家の人に見てもらいたい!」「一緒にやりたい!」とわくわくした気持ちで日々の活動に取り組んでいます。運動会の取り組みでは、チームの友だちと一緒にルールのあるゲームに挑戦したり、応援したりしながら「勝ってうれしい」「負けて悔しい」といった気持ちも経験しています。そうした気持ちを味わう中で、友だちと一緒に取り組む楽しさや、協力する喜びを感じているようです。

運動会当日は、お家の方と一緒に楽しい時間を過ごしながら、子どもたちの成長した姿を感じていただけたら嬉しく思います。また今月はお部屋でもハロウィンの衣装を作ったり、かばんを作ったりしながら制作も楽しんでいきたいと思います。

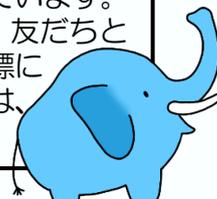


ぞう組が、お泊まり
保育に行くということを知った日のことです。
最初は、一日帰ってこないということに驚きと戸惑いを隠せない様子の子どもたちでしたが、お泊まり保育はどんなことをするのかを一緒に共有していくうちに・・・

Aくん「いいなあ!!
なんかもう、行きたくなってきわ」
Bちゃん「じゃあさ、お泊まり保育まであと何日か数えてみようか!!」
みんな「うん!いいね!数えてみよう!」

あまりのやる気に、「ちょっと待って!まだひつじぐみでも楽しいこといっぱいあるから」と焦る担任でした。

楽しかったお泊まり保育も終わり、次は保育センターで最後の運動会だ!と気持ちが盛り上がっているぞう組の子どもたちです。「あと何日で運動会か数えよう」と話し合いで決まり、みんなで日々カウントダウンをしながらその日を楽しみに過ごしています。創作ダンスでは、「みんなが好きな歌がいいんじゃない?」や「歌って踊れたら楽しいかも」という話になり、選ばれた2曲(アンコールで1曲)を踊ることになりました。また、お泊まり保育で行ったスタンツが思い出に残ったようで、ダンスの振付を考える中で、「手に楽器を持って踊りたい」という意見もあり、銭太鼓という手作り楽器を持って踊ることになりました。コンサートごっこで経験したことを保護者の方にも見てもらいたいと今からとても楽しみにしている子どもたちです。サーキットと親子リレーでは、今、子どもたちの間で大人気の幼年童話『へんてこもりにいこうよ』の物語の世界をテーマに、遊びを展開しています。サーキットの各コーナーには、「ぼさこう跳び」や「なべえもんのお鍋投げ」といった子どもたちのアイディアに溢れたコーナーの名前が付けられました。親子リレーでは、6~7組で「へんてこもりのお子さまランチ」を作ってもらおうと子どもたちと考えています。物語の世界に入り表現したり、体を動かすことを楽しんだり、友だちとイメージを共有しながらアイディアを出しあう中で、一つの目標に向かって取り組んだりする姿に日々成長を感じています。当日は、お家の方も一緒に楽しい思い出を作りたいと思います。



大学に散歩に行った時の
ことです。

Aくん「先生、このクリスマスツリーの
木さ、ハンテコスタさんに
似てない?」

保育者「本当だね!」

Bくん「あ、ねえ、目も鼻もあるよ!」

Cくん「じゃあさ、へんてこもりの仲間も
この辺にいるんじゃない?」

Aくん「探しに行こう!」

どんな場面でも幼年童話『へんてこもりにいこうよ』の世界を楽しんでいる子どもたちです。